

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392200206
事業所名	グループホーム真清田

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域との深い付き合いがあり、その信頼関係の証明となるエピソードがある。学校の傍の洋品店（紳士服、学生服）の店主（お婆さん）が亡くなられ、洋品店は店をたたむこととなった。長い間付き合いのあったホームに対し、遺族は感謝の意を込めて、店の展示品と在庫商品を全てホームに提供してくれた。利用者用に肌着等をいただき、他のものは地域の児童養護施設や障害者施設のバザー用に寄付することとした。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 奇数月の最終水曜日に運営推進会議を開いており、参加者が多い。利用者や家族代表、市の職員、地域包括支援センターの職員、町内会長、民生委員、地域の調剤薬局の先生、その他に地域から毎回2～3名の住民がメンバーとして集まっているが、薬局の研修生が加わることもあった。 今年度から、会議で「身体拘束適正化委員会」の報告を行っている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議の行政枠として、原則、地域包括支援センターの職員が出席することとなっている。しかし、都合がつかない場合には、市の介護保険課の職員が参加し、必ずどちらかが参加している。 管理者は、ホームの活動報告等を提出するために、毎月市の担当課を訪問している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 94歳、介護度5の利用者の「イタリア料理が食べたい」との思いを叶えるため、利用者、職員皆でイタリアンレストランに行った。その他にも、毎月2回は皆が参加する外出イベントが生まれ、家族が参加することも多い。 毎月、ホーム便りを発行し、ホームの活動や利用者の様子、近況を家族に伝えている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	○	○	○	○	○	◎	○	◎	